

公民館だより

平成 26 年 (2014 年) 3 月 1 日

No. 141
編集 公民館だより編集委員会
発行 日野市中央公民館
〒191-0011
日野市日野本町7-5-23
電話 042(581)7580
FAX 042(581)2110
E-mail pubhall@city.hino.lg.jp

点字「公民館だより」は、グループ「あいの会」の協力できています。市立つばさ・東京光の家・中央図書館・高橋図書館・中央公民館および同高橋台分室にあります。お知り合いで目の不自由な方にご紹介ください。

サークルの仲間たち

日野ウクレレサークル

豊かな青い海～ハワイで愛されるウクレレを楽しむ皆さんの練習の場にお邪魔しました。指導をする北代岳大(きたしろ たけひろ)先生は、若くて熱心。プロのクラシックギタリストです。現在の会員は40歳代から70歳代までの13人。

このサークルは、平成23年度末の公民館講座を受講した方で結成され2年足らず。初めて手にした楽器で「春の小川」「旅愁」というおなじみの曲から「アロハ・オエ」「カイマナヒラ」などのハワイアン、さらにクラシックまで、幅広いジャンルの曲に取り組んでいます。

練習では、会員一人ひとりに合わせ、基本に重点を置きながらソロからアンサンブルまで、楽しく活動を続けています。

「いま、ウクレレがブームなん

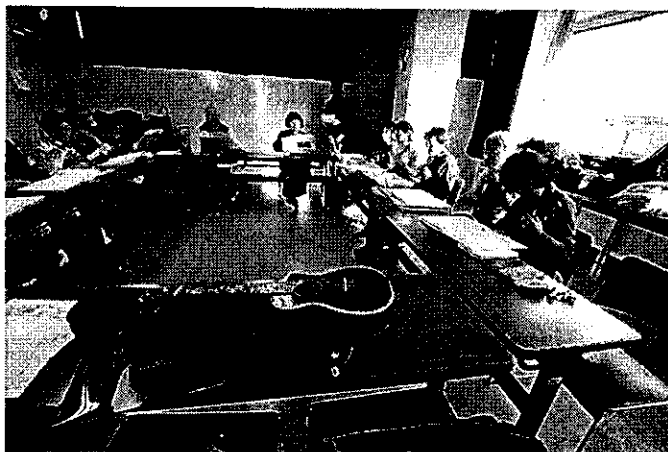
ですよ。団塊の世代がギターで、その少し上がウクレレなんです」と北代先生。

サークル代表の秋永基さんは「音を出しても家族に迷惑をかけないのがいいですね」と話され、会員の皆さんからも、「指の運動として最適」「小さくてどこでも演奏できる」「四弦で半年もしたら弾けるようになった」「歌謡曲を歌いながら」「旅先でも演奏を楽しんでいる」などいろいろなお話をいただきました。

「まさかこの年齢になって新しいものに出会い、ワクワクの気持ちでいられようとは。人生が豊かになった」という一言に、この楽器の魅力のすべてが語られるかもしれません。

昨年11月には、多摩市の高齢者施設で演奏をしたとのこと。会

場



▲心を合わせてポロロン

場の皆さんの歌も加わり、大喝采で、再演を望まれるほどだったということです。

話をうかがっていると、ポロロンとウクレレを弾いてみたくなりました。ゆったりとして音色が優しく包み込んでくれそうです。

サークルでは、新たな入会の方を大募集中とのこと。ご興味がある方は、お問い合わせください。

- ・活動日 毎月第2・4水曜日
- ・時間 13:30～15:30
- ・月会費 2,000円
- ・問い合わせ先 公民館職員にお問い合わせください。

公民館は環境負荷低減に配慮しています 日野市は、事務事業のあらゆる領域における環境への負荷の低減を目指して、国際規格である ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムを導入し、平成12年12月に第三者機関の認証を取得しました。

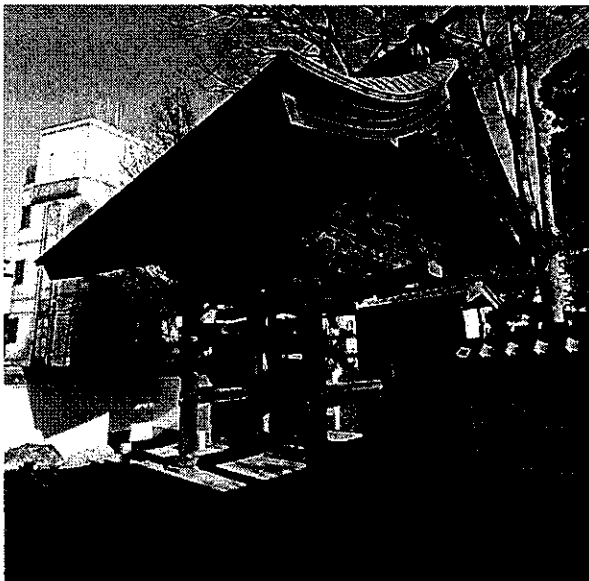
その後、平成24年12月に自己適合宣言に移行し、現在も環境負荷低減に努める事業者として市域での先導的な役割を担っています。

公民館においても、環境負荷低減に配慮した事務事業を行っています。冬は暖かい服装で、夏は涼しい服装でご来館ください。ご理解ご協力をお願いいたします、(日野市中央公民館)

私たちが取材のために日野駅から旧甲州街道を坂下地蔵の方へ上がっていくと、坂の途中の左側に立派な六角総ケヤキ造りの山門（写真・下）が現れます。そこが、今日の目的地宝泉寺です。

早速ご住職にお会いしてお話を聞くことになりました。始めはちょっと緊張しましたがご住職は、とても優しく色々なお話をして頂き、お話しして頂いた場所にも自ら案内をしてくださいました。

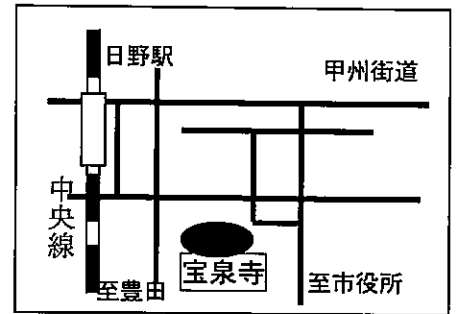
宝泉寺は、臨済宗建長寺派の禅寺で、創立は元徳年間（1300年頃）と伝えられて、開祖は鎌倉建長寺の曇芳周応大和尚（どんぼうしゅういんだいおしょう）で、



本尊は釈迦如来、脇侍に文殊菩薩、普賢菩薩の三尊を安置しています。

現在の本堂は、平成13年5月に新築落慶し、境内も整えられています。しかし、当初は姥久保（現在の新町の中央自動車道が通るあたり）にありましたが天正の末に火災に遭い、その後現在の地に移転再建されたそうです。また、明治8年には小学校の教員を養成する師範学校が宝泉寺に開校されています。そして、日野学校創設にあたり、最初の教員になった落合滝水氏の「落合滝水之碑」が本堂右前にあります。また、宝泉寺の墓地には、新選組六番隊長・副長助勤井上源三郎の墓碑が建てられています。

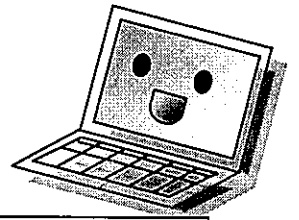
最後に、この宝泉寺に伝わる昔話として「持ち上げ観音」についてです（写真・上）。この昔話は、東京新聞出版局発行の菊地正著「とんとんむかし」という本や「日野市史 民俗編」第10章 昔ばなしの中にも掲載されています。お寺に伝わる「縁起」（版木による刷り物）によると厨子を背負っ



た六部（巡礼者）が宝泉寺に一夜の宿を乞い、寺にもてなしを受けて休みました。あくる日朝食を済ませ、厚く礼を述べて出立しようと厨子を背負いかけたところ、厨子が床に張りつき、どうしても持ち上がりません。六部が厨子の中から観音様を取りだし一心に祈りをこめてうかがうと観音様は「この寺は滅法居心地がよい。よそに行きたくないからこのまま置いていっておくれ」とお告げになりました。六部は、「お別れして心細いが、どうか先行き諸人の悩み苦しむ者がございましたら、救いの手を差し伸べてくださいますように」と心願を残して観音様を置いて立ち去りました。それ以来悩みを持つ者が誰彼となく寺を、この観音様に願いをかけてお伺いを立て、像を持ち上げました。もし軽く持ち上げれば願いが叶えられ、重くて持ち上がらないときは、願いが叶えられないしと信じられてきましたとき。

本堂と客殿の間に安置された観音様を拝見しましたが、36 cmほどの小さな観音様で布に包まれていて可愛い顔を出しておられました。このような色々な見所がある宝泉寺に散歩がてら見学に行くのも楽しいと思いました。

施設予約システムが稼働しました



4 月利用分からはインターネット予約で

公民館を含む市内文化施設の利用の際の申請が、ことし 2 月（4 月使用分）から大きく変わり、インターネットを利用した申請となりました。申請から利用までの流れを、改めて紹介します。

（中央公民館）

ご利用の前に
1 利用者登録

インターネット予約をするためには、まず「利用者登録」をしてください。公民館のご利用には、改めて「システム利用者登録申請」と「公民館利用団体登録申請」が必要となります。詳しくは、窓口へお問い合わせください。

利用月の
2ヶ月前

2 抽選
申請期
間

1日
から
7日

毎月 1 日～7 日の間に抽選申請をしてください（2 か月後の 1 か月分の部屋を申し込むことができます）。

3 抽選
申請確
認期間

8日
から
15日

8 日～15 日の間に抽選結果の確認をしてください。「当選」の場合で、部屋を使う場合は「当選申請」の手続きが必要です。

4 空き
施設の
予約

16日
から

ご利用日当日
5 使用申請
（窓口で許可
書をお渡しし
ます）

16 日以降は、空き状況を見て部屋を申請することができます。

ことし 2 月 1 日に公民館を含む文化施設を対象にした施設予約システムが稼働しました。

このシステムは、上図のように、パソコン等で利用についての「抽選申請」－「当選の場合の確認」－「空き施設の随時申請」という

流れとなります。

それぞれ期間が決まっていますので、ご注意ください。

3 月までは窓口で対応

3 月末までの利用については、従来どおり、中央公民館または高幡台分室の窓口で電話または直

接申し込むことができます。

事務室でも操作できます

パソコンの操作が不安な方、ご自宅にパソコンがない方は、中央公民館および高幡台分室にインターネットに接続できるパソコンを用意してあります。

ミニコラム

公民館でツイッターを始めました。さまざまな情報発信をしていきます。フォローをお願いします。 **日野市中央公民館** ツイッターで検索を。

公民館だより前号（140 号）2 面「日野の風景」で紹介した百草八幡神社について、高幡台分室と同じ建物にある日野市郷土資料館から解説が寄せられましたので紹介します。

百草八幡神社の境内には、校倉造りを模した赤い小さな建物（奉安殿）があります。

この建物には、国の重要文化財に指定されている銅造阿弥陀如来坐像が保管されています。像の背面には銘文が刻まれており、建長 2 年（1250 年）の銘と真慈悲寺の名がみえます。神仏習合の時代を経て今日の百草八幡神社に大切に伝えられてきたものです。奉安殿の内部には鉄製の収蔵庫（奉安庫）が置かれ、阿弥陀如来坐像が納められています。奉安殿の建造には国や町の補助も一部ありましたが、地元の人々の熱意と努力によるところが大きく、昭和 38 年 8 月 26 日に遷座祭が執行されました。その時奉納された棟札には「奉鎮祭寶像庫一字新築屋舎」と書かれてあります。 （日野市郷土資料館 学芸員）

チラシで振り返る公民館事業

今年度、公民館が実施した講座・イベントのチラシの一部です。これからも、いろいろな企画を進めてまいります。ご参加お待ちしております。

第 259 回 中央公民館バラエティサロン

華麗なるフルートの調べ

第 258 回 中央公民館バラエティサロン

トザイ、トザイ！
ちんどん屋さんがやってくる

晩秋を彩る 聖琴の響き
with バイオリン
ファミリーコンサート

11月30日(土) 午後2時~3時30分(休演あり)
中央公民館(日野本庁 5-23)

12月21日(土)
マタギ

自宅でも出来る！！
「体幹(コア)トレーニング
のストレッチ」講座

～アサーティブ・コミュニケーション～
～自分も相手も尊重する対話術～

色彩筆画を
描いてみよう

10月12日、19日、26日、
11月2日、9日 <全5回>

町を楽しむ
～市内から見える山並みを楽しむ～

自分史を書こう

これまで自分が生きてきた記録を、文章化して
んか、「自分史」づくりのノウハウを6回シリーズ

町を楽しむ
～農業体験ウオーク～
～旬の日野産産物の収穫体験と
農業施設巡りの農業理解講座です～

健康中国茶入門

市民企画公民館講座
**喫茶店マスターが
教えるコーヒー入門**

親子で豆腐と味噌を作ろう

**健康で美しい体を
保つおもしろい講座**

10月17日(木)
名作鑑賞会～朗読サロン
名作鑑賞会にいらっしやいませんか!
ふたたび出逢う **新美南吉**

いつでも・どこでも・だれでも学べる
市民による手作り大学
ひの市民大学

あとがき ▼古刹が恋のパワー・スポット、とあって訪問しました。本来は凡俗の悩める諸事を聴いてくださる観音様のことで、なぜかホッとしました。▼メンバーの年代を問わず、ジャンルも問わず、ジャズ・童謡・クラシック…と楽しく弾くことをモットーのウクレレサークル。「学び初め」は6歳とは限りませんね。勇気が出ます。▼厳しい寒さの中に、フキノトウが話題にのぼり、ロウバイの花に元気をもらおう——日本人の感性を大切にしたいものです。(H)

中央公民館：電話042-581-7580 ファクス042-581-2110
 中央公民館高幡台分室：電話042-592-0864 ファクス042-594-1915
 メール(中央・分室共通)は、pubhall@city.hino.lg.jpへ。
 公民館のホームページは <http://kouminkan-city-hino-tokyo.jp/> です。